

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	祝利 美杏
主な担当科目	タップダンス①,タップダンス②,タップダンス③,タップダンス④
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	タップダンス①では、基礎をしっかりと身につけ、リズム感を養い、踊ることの楽しさと、自分の足が楽器になるということを感じてもらう。タップダンス②③④では、基礎の大切さを意識しながら、技術力と表現力を向上させ、様々な振付けを踊れるようにする。ミュージカル演習では、学生が舞台上に立つ演者として素敵なタップダンスを踊れるよう、バラエティに富んだ振付けをしたい。
2022年の教育に関する自己評価	タップダンス①では、基本ステップの修得とそれを応用した振付けを覚えようと、学生たちが意欲的に授業に取り組んでいる。②③④と上級生になるに従い、ダンス力・技術力向上のための工夫をしているため学修意欲が高まっていると感じる。コロナ感染による学年休校の際、後日補講としたことも学生のやる気に繋がったと感じる。成果発表、卒業公演等でタップダンスナンバーを振付けられたことで、より作品を盛り上げることができたと思う。
2022年のFD活動に関する自己評価	ミュージカル学内組織のFD研修会は主催側として、ミュージカルコース発展のため、非常勤の先生方への呼びかけ、研修内容作成等、積極的に活動した。本年度もコロナの影響で学事日程の変更が多くFD研修会の回数は少なくなってしまった。
授業改善のために取り入れた研修内容	ミュージカル学内組織の研修会にて、それぞれの先生方の授業での役割を理解していただくため「ミュージカルコースのカリキュラムポリシー」という研修課題を取り入れた。

第15回	前期の復習 シアタータップ振り付けⅢ 小テスト	
第16回	エクササイズ 3サウンドコンビネーション中級（右足スラム始まり） 他ジャンルの曲での振り付け①（前半）	パドルロールⅠ①（ディグから始まる4連）
第17回	エクササイズ 3サウンドコンビネーション中級（左足スラム始まり） 他ジャンルの曲での振り付け②（中盤）	パドルロールⅠ②（ダブル）
第18回	エクササイズ 3サウンドコンビネーション中級（左右両足で仕上げ） 他ジャンルの曲での振り付け③（後半）	パドルロールⅠ③（トリプル）
第19回	エクササイズ 3サウンドコンビネーションアレンジ（4種類のコンビネーションを同時に踏んでみる） パドルロールⅠ④（左右移動）	他ジャンルの曲での振り付け①②③（固め）
第20回	エクササイズ 3サウンドコンビネーションアレンジ（少人数で4種類のコンビネーションを同時に踏みリズムを楽しむ） パドルロールⅡ①②③④（シャッフルから始まる4連）	他ジャンルの曲での振り付け 小テスト
第21回	エクササイズ プルバックを使用した実践ステップコンビネーション（右足から） オーディション振り付け演習（前半）	
第22回	エクササイズ プルバックを使用した実践ステップコンビネーション（左足から） オーディション振り付け演習（中盤）	
第23回	エクササイズ ウイング（シングル） プルバックを使用した実践ステップコンビネーション（左右両足で仕上げ） オーディション振り付け演習（後半）	
第24回	エクササイズ ウイング（シングルアレンジ） プレーンタップ掛け合いアレンジ中級 オーディション振り付け演習（アレンジ）	
第25回	エクササイズ ウイング（ダブル右足から） クロスザフロアー中級（フラップヒールステップをシェネターンで踏む） 小テスト（オーディション形式）	
第26回	エクササイズ ウイング（ダブル左足から） クロスザフロアー上級（3サウンドスラム始まりのコンビネーション） 試験の振り付け①（長めの振り付け前半）	
第27回	エクササイズ クロスザフロアー上級（3サウンドスラムとクランプロールターンの組み合わせコンビネーション右足始まり） 試験の振り付け②（長めの振り付け中盤）	
第28回	エクササイズ クロスザフロアー上級（3サウンドスラムとクランプロールターンの組み合わせコンビネーション左足始まり） 試験の振り付け③（長めの振り付け後半）	
第29回	エクササイズ クロスザフロアー上級（3サウンドスラムとクランプロールターンの組み合わせコンビネーション仕上げ） 試験の振り付け①②③（役として魅せるタップダンスを踊る）	
第30回	エクササイズ 4年間の総復習 試験の振り付け①②③（ステップ、表情、ダンス表現、役、アピール、すべてを意識する）	

履修上の注意

タップシューズを履いて受講する事。授業の前後にチップのネジが緩んでいないかチェックすること。
見学をする場合は、見学ノートに見学の理由・見学時に感じた事などを記入する事。
評価には授業への取り組み姿勢も含まれる。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で新しく習ったステップ、振付を復習し、どのように踊る（魅せる）かを研究し翌週の授業に備える。（30分～1時間程度）
ミュージカル俳優としてタップダンスを踊るために、シアタータップの振り付け曲、作品振り付け演習の作品をよく調べ、理解しておく。

教科書・参考書

なし

科目名-クラス名

タップダンス①

A

曜日時限

火 2時限

担当教員

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
演習	1~	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		
				0	0	0	80	20	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース1年次必修科目で、ミュージカルに必要なタップダンスを、様々なジャンルの曲、スタイル、振り付けで踊れるようになることを目標とする。そのために必要なテクニックを、基礎から順に学んで行き、テクニックだけではなくリズム感も養い、上半身でのダンス表現や踊る時の顔の表情など、舞台に立つプレイヤーとして（俳優として）タップダンスを踊ることができるようにする。1年次前期は基本ステップを中心に基礎力を身に付け、後期は学修したステップを応用した振り付けでミュージカルの曲を1曲踊り、試験にて発表する。

学修成果

タップダンスの基本ステップであるブレンタップ・クランプロール・タイムステップ等を修得する事により、ステップを応用した振付が踊れるようになる。後期には、音楽を使用せずタップのステップ音だけでリズムを奏でるリズムタップを修得することにより、リズム感も養うことができる。

授業展開と内容

- 第1回 タップシューズの仕組みと、今後の授業の流れの説明
基本ステップ（ボール・ヒール・スタンプ・シャッフル・フラップ等）
ブレンタップ（3連）※バレエ用バーを使用
- 第2回 基本ステップとその応用
ブレンタップ（両足軸・片足軸）
ランニングスラップ（フラップしながら動く）
- 第3回 基本ステップの応用と発展 ブレンタップ（応用）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ前半）
クランプロール（シングル・ダブル・トリプル）
- 第4回 基本エクササイズ
ブレンタップ（応用と発展）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ後半） クランプロールの応用（前後左右に動く）
- 第5回 基本エクササイズ ブレンタップ（バー使用なし）
ブロードウェイステップ（曲に合わせる） クランプロールターン①（ターンしながらステップ）
クロスザフロアー（ステップしながら動く）
- 第6回 基本エクササイズ
ブレンタップ（少人数に分かれて音を聞く） ブロードウェイステップの発展
クランプロールターン②③（リズムチェンジ2パターン） クロスザフロアー（ツーステップ）
- 第7回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン④⑤⑥（シャッフル始まりの3パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ①）
- 第8回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン⑦⑧（リフ・ヒール始まりの2パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ②）
- 第9回 基本エクササイズ ブレンタップ
ブロードウェイステップ（早いテンポの曲に変える）
クランプロール・ターン①~⑧（復習） クロスザフロアー（ブレンタップをしながら進む）
- 第10回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（クランプロール応用）
タイムステップI①（シャッフルステップ始まりのシングル）
- 第11回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（バックステップ）
タイムステップI②（ダブル）
- 第12回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（組み合わせ応用）
タイムステップI③（トリプル）
- 第13回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（発展）
タイムステップI④（ダブルトリプル）
- 第14回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ

第29回

第30回

履修上の注意

個人での海外研修となるので全て自己責任となる。日本と海外では気候をはじめ、法律や習慣等、大きな違いがあり、日本では見過ごされていることでも海外では大きな問題になる場合もある。治安の面でも日本ほど安全とは言えない。参加者は研修に向けて体調管理を行い、海外においては節度ある行動を心がけること。海外傷害保険に必ず加入すること。なお、諸般の事情により研修内容は変更されることがある。この授業は講義又は演習（外国語を含む）又は実技・実習132時間および授業外学修3時間をもって単位の算定とする。したがって上記欄にある回数は実際の授業回数ではないため注意すること。なお、単位認定にあたっては、個々の事例ごとに海外研修委員会に諮るものとする。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受ける場合は十分に準備をしておくこと。また、訪れる国の歴史、文化、社会、言語についても事前に十分な学修をしておくこと。

教科書・参考書

なし。

科目名-クラス名

タップダンス①

B

曜日時限

担当教員

水 2時限

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
演習	1~	通年	2	評価割合	0	0	0	80	20	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース1年次必修科目で、ミュージカルに必要なタップダンスを、様々なジャンルの曲、スタイル、振り付けで踊れるようになることを目標とする。そのために必要なテクニックを、基礎から順に学んで行き、テクニックだけではなくリズム感も養い、上半身でのダンス表現や踊る時の顔の表情など、舞台に立つプレイヤーとして（俳優として）タップダンスを踊ることができるようにする。1年次前期は基本ステップを中心に基礎力を身に付け、後期は学修したステップを応用した振り付けでミュージカルの曲を1曲踊り、試験にて発表する。

学修成果

タップダンスの基本ステップであるブレンタップ・クランプロール・タイムステップ等を修得する事により、ステップを応用した振付が踊れるようになる。後期には、音楽を使用せずタップのステップ音だけでリズムを奏でるリズムタップを修得することにより、リズム感も養うことができる。

授業展開と内容

- 第1回 タップシューズの仕組みと、今後の授業の流れの説明
基本ステップ（ボール・ヒール・スタンプ・シャッフル・フラップ等）
ブレンタップ（3連）※バレエ用バーを使用
- 第2回 基本ステップとその応用
ブレンタップ（両足軸・片足軸）
ランニングスラップ（フラップしながら動く）
- 第3回 基本ステップの応用と発展 ブレンタップ（応用）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ前半）
クランプロール（シングル・ダブル・トリプル）
- 第4回 基本エクササイズ
ブレンタップ（応用と発展）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ後半） クランプロールの応用（前後左右に動く）
- 第5回 基本エクササイズ ブレンタップ（バー使用なし）
ブロードウェイステップ（曲に合わせる） クランプロールターン①（ターンしながらステップ）
クロスザフロアー（ステップしながら動く）
- 第6回 基本エクササイズ
ブレンタップ（少人数に分かれて音を聞く） ブロードウェイステップの発展
クランプロールターン②③（リズムチェンジ2パターン） クロスザフロアー（ツーステップ）
- 第7回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン④⑤⑥（シャッフル始まりの3パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ①）
- 第8回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン⑦⑧（リフ・ヒール始まりの2パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ②）
- 第9回 基本エクササイズ ブレンタップ
ブロードウェイステップ（早いテンポの曲に変える）
クランプロール・ターン①~⑧（復習） クロスザフロアー（ブレンタップをしながら進む）
- 第10回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（クランプロール応用）
タイムステップI①（シャッフルステップ始まりのシングル）
- 第11回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（バックステップ）
タイムステップI②（ダブル）
- 第12回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（組み合わせ応用）
タイムステップI③（トリプル）
- 第13回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（発展）
タイムステップI④（ダブルトリプル）
- 第14回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ

科目名-クラス名

タップダンス①

A

曜日時限

担当教員

火 2時限

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
演習	1~	通年	2	評価割合	0	0	0	80	20	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース1年次必修科目で、ミュージカルに必要なタップダンスを、色々なジャンルの曲、スタイル、振り付けで踊れるようになることを目標とする。そのために必要なテクニックを、基礎から順に学んで行き、テクニックだけではなくリズム感も養い、上半身でのダンス表現や踊る時の顔の表情など、舞台に立つプレイヤーとして（俳優として）タップダンスを踊ることができるようにする。1年次前期は基本ステップを中心に基礎力を身に付け、後期は学修したステップを応用した振り付けでミュージカルの曲を1曲踊り、試験にて発表する。

学修成果

タップダンスの基本ステップであるブレンタップ・クランプロール・タイムステップ等を修得する事により、ステップを応用した振付が踊れるようになる。後期には、音楽を使用せずタップのステップ音だけでリズムを奏でるリズムタップを修得することにより、リズム感も養うことができる。

授業展開と内容

- 第1回 タップシューズの仕組みと、今後の授業の流れの説明
基本ステップ（ボール・ヒール・スタンプ・シャッフル・フラップ等）
ブレンタップ（3連）※バレエ用バーを使用
- 第2回 基本ステップとその応用
ブレンタップ（両足軸・片足軸）
ランニングスラップ（フラップしながら動く）
- 第3回 基本ステップの応用と発展 ブレンタップ（応用）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ前半）
クランプロール（シングル・ダブル・トリプル）
- 第4回 基本エクササイズ ブレンタップ（応用と発展）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ後半）
クランプロールの応用（前後左右に動く）
- 第5回 基本エクササイズ ブレンタップ（バー使用なし）
ブロードウェイステップ（曲に合わせる） クランプロールターン①（ターンしながらステップ）
クロスザフロアー（ステップしながら動く）
- 第6回 基本エクササイズ ブレンタップ（少人数に分かれて音を聞く）
ブロードウェイステップの発展 クランプロールターン②③（リズムチェンジ2パターン）
クロスザフロアー（ツーステップ）
- 第7回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン④⑤⑥（シャッフル始まりの3パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ①）
- 第8回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン⑦⑧（リフ・ヒール始まりの2パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ②）
- 第9回 基本エクササイズ ブレンタップ
ブロードウェイステップ（早いテンポの曲に変える） クランプロール・ターン①～⑧（復習）
クロスザフロアー（ブレンタップをしながら進む）
- 第10回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（クランプロール応用）
タイムステップⅠ①（シャッフルステップ始まりのシングル）
- 第11回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（バックステップ）
タイムステップⅠ②（ダブル）
- 第12回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（組み合わせ応用）
タイムステップⅠ③（トリプル）
- 第13回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（発展）
タイムステップⅠ④（ダブルトリプル）
- 第14回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ

クランプロール・ターン クロスザフロアー
 タイムステップⅠ①②③④復習 (曲に合わせて)

第15回 前期に習ったステップの復習・成果発表 (小テスト)

第16回 前期の復習 エクササイズ (基本ステップ・ブロードウェイステップ・プレーンタップ・クランプロール)
 タイムステップ クロスザフロアー
 リズムタップ① (曲を使用しないタップステップのみのリズム遊び)

第17回 エクササイズ クロスザフロアー
 リズムタップ①② (2つのリズムを同時に踏んでみる)
 タイムステップⅡ①②③④ (スタンプステップ始まりのシングル・ダブル・トリプル・ダブルトリプル)

第18回 エクササイズ クロスザフロアー
 リズムタップ①②③ (3つのリズムを同時に踏んでみる)
 タイムステップⅡ①②③④ (曲に合わせて)

第19回 エクササイズ クロスザフロアー リズムタップ①②③④ (4つのリズムを同時に踏んでみる)
 タイムステップブレイクⅠ① (シャッフルステップ始まりのシングル応用)
 試験の為の振り付け① (基本の応用)

第20回 エクササイズ クロスザフロアー リズムタップ①②③④の発展 (4つのリズムをバラバラの位置で同時に踏んでみる)
 タイムステップブレイクⅠ② (ダブル応用)
 試験の為の振り付け② (クランプロールの応用)

第21回 エクササイズ リズムタップ応用 (4つのリズムを全員で円を作り同時に踏んでみる)
 タイムステップブレイクⅠ③ (トリプル応用) クロスザフロアーのレベルアップ (ターンクランプロール 右)
 試験の為の振り付け③ (3連応用)

第22回 エクササイズ リズムタップ仕上げ (少人数で4つのリズムを鳴らし、他の学生は客観的にリズムを感じてみる)
 クロスザフロアーのレベルアップ (ターンクランプロール 左) タイムステップブレイクⅠ④ (ダブルトリプル応用)
 試験の為の振り付け④ (シンコペーションのリズム表現)

第23回 エクササイズ リズムタップ
 クロスザフロアーのレベルアップ (フラップとシャッフの組み合わせ)
 タイムステップブレイクⅠ①②③④復習 (曲に合わせて) 試験の為の振り付け⑤ (タイムステップの応用)

第24回 エクササイズ リズムタップ
 クロスザフロアーのレベルアップ (フラップとシャッフの組み合わせ応用)
 タイムステップブレイクⅡ①②③④ (スタンプステップ始まりの応用) 試験の為の振り付け⑥ (バックステップの応用)

第25回 エクササイズ リズムタップ クロスザフロアー
 タイムステップブレイクⅡ①②③④復習 (曲に合わせて)
 試験の為の振り付け⑦ (ポーズのとり方と足さばき)

第26回 エクササイズ タイムステップ クロスザフロアー
 タイムステップⅠ①②③④Ⅱ①②③④総復習
 試験の為の振り付け⑧ (前後移動しながらステップを踏む)

第27回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け⑨ (クランプロールターンと組み合わせステップ)

第28回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け (ターンしながらステップを踏む)

第29回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け (上半身のダンス表現、顔の表情を意識)

第30回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け (少人数で踊る 仕上げ)

履修上の注意

タップシューズを履いて受講する事。見学をする場合は、見学ノートに見学の理由・見学時に感じた事などを記入すること。試験評価は授業態度も含む。

授業外学修の指示/課題に対するフィードバックの方法

授業で習ったステップ、エクササイズを復習し (30分程度)、翌週の授業までに出来るようにしておく。
 学んだことを基にステップの応用 (右足始まりのステップを学んだ場合、左足始まりのステップはどうなるか…等) を予習する。 (30分程度)

教科書・参考書

なし

第29回

第30回

履修上の注意

個人での海外研修となるので全て自己責任となる。日本と海外では気候をはじめ、法律や習慣等、大きな違いがあり、日本では見過ごされていることでも海外では大きな問題になる場合もある。治安の面でも日本ほど安全とは言えない。参加者は研修に向けて体調管理を行い、海外においては節度ある行動を心がけること。海外傷害保険に必ず加入すること。なお、諸般の事情により研修内容は変更されることがある。この授業は講義又は演習（外国語を含む）又は実技・実習132時間および授業外学修3時間をもって単位の算定とする。したがって上記欄にある回

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受ける場合は十分に準備をしておくこと。また、訪れる国の歴史、文化、社会、言語についても事前に十分な学修をしておくこと。

教科書・参考書

なし。

科目名-クラス名

タップダンス①

B

曜日時限

担当教員

水 2時限

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験	筆記・実技	課題提出	作品提出		
演習	1～	通年	2	0	0	0	80	20	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース1年次必修科目で、ミュージカルに必要なタップダンスを、色々なジャンルの曲、スタイル、振り付けで踊れるようになることを目標とする。そのために必要なテクニックを、基礎から順に学んで行き、テクニックだけではなくリズム感も養い、上半身でのダンス表現や踊る時の顔の表情など、舞台上立つプレイヤーとして（俳優として）タップダンスを踊ることができるようにする。1年次前期は基本ステップを中心に基礎力を身に付け、後期は学修したステップを応用した振り付けでミュージカルの曲を1曲踊り、試験にて発表する。

学修成果

タップダンスの基本ステップであるブレンタップ・クランプロール・タイムステップ等を修得する事により、ステップを応用した振付が踊れるようになる。後期には、音楽を使用せずタップのステップ音だけでリズムを奏でるリズムタップを修得することにより、リズム感も養うことができる。

授業展開と内容

- 第1回 タップシューズの仕組みと、今後の授業の流れの説明
基本ステップ（ボール・ヒール・スタンプ・シャッフル・フラップ等）
ブレンタップ（3連）※バレエ用バーを使用
- 第2回 基本ステップとその応用
ブレンタップ（両足軸・片足軸）
ランニングスラップ（フラップしながら動く）
- 第3回 基本ステップの応用と発展 ブレンタップ（応用）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ前半）
クランプロール（シングル・ダブル・トリプル）
- 第4回 基本エクササイズ ブレンタップ（応用と発展）
組み合わせステップ（ブロードウェイステップ後半）
クランプロールの応用（前後左右に動く）
- 第5回 基本エクササイズ ブレンタップ（バー使用なし）
ブロードウェイステップ（曲に合わせる） クランプロールターン①（ターンしながらステップ）
クロスザフロアー（ステップしながら動く）
- 第6回 基本エクササイズ ブレンタップ（少人数に分かれて音を聞く）
ブロードウェイステップの発展 クランプロールターン②③（リズムチェンジ2パターン）
クロスザフロアー（ツーステップ）
- 第7回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン④⑤⑥（シャッフル始まりの3パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ①）
- 第8回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロールターン⑦⑧（リフ・ヒール始まりの2パターン）
クロスザフロアー（2拍3連リズムステップ②）
- 第9回 基本エクササイズ ブレンタップ
ブロードウェイステップ（早いテンポの曲に変える） クランプロール・ターン①～⑧（復習）
クロスザフロアー（ブレンタップをしながら進む）
- 第10回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（クランプロール応用）
タイムステップⅠ①（シャッフルステップ始まりのシングル）
- 第11回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（バックステップ）
タイムステップⅠ②（ダブル）
- 第12回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（組み合わせ応用）
タイムステップⅠ③（トリプル）
- 第13回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ
クランプロール・ターン クロスザフロアー（発展）
タイムステップⅠ④（ダブルトリプル）
- 第14回 基本エクササイズ ブレンタップ ブロードウェイステップ

クランプロール・ターン クロスザフロアー
 タイムステップⅠ①②③④復習（曲に合わせて）

第15回 前期に習ったステップの復習・成果発表（小テスト）

第16回 前期の復習 エクササイズ（基本ステップ・ブロードウェイステップ・プレーンタップ・クランプロール）
 タイムステップ クロスザフロアー
 リズムタップ①（曲を使用しないタップステップのみのリズム遊び）

第17回 エクササイズ クロスザフロアー
 リズムタップ①②（2つのリズムを同時に踏んでみる）
 タイムステップⅡ①②③④（スタンプステップ始まりのシングル・ダブル・トリプル・ダブルトリプル）

第18回 エクササイズ クロスザフロアー
 リズムタップ①②③（3つのリズムを同時に踏んでみる）
 タイムステップⅡ①②③④（曲に合わせて）

第19回 エクササイズ クロスザフロアー リズムタップ①②③④（4つのリズムを同時に踏んでみる）
 タイムステップブレイクⅠ①（シャッフルステップ始まりのシングル応用）
 試験の為の振り付け①（基本の応用）

第20回 エクササイズ クロスザフロアー リズムタップ①②③④の発展（4つのリズムをバラバラの位置で同時に踏んでみる）
 タイムステップブレイクⅠ②（ダブル応用）
 試験の為の振り付け②（クランプロールの応用）

第21回 エクササイズ リズムタップ応用（4つのリズムを全員で円を作り同時に踏んでみる）
 タイムステップブレイクⅠ③（トリプル応用） クロスザフロアーのレベルアップ（ターンクランプロール 右）
 試験の為の振り付け③（3連応用）

第22回 エクササイズ リズムタップ仕上げ（少人数で4つのリズムを鳴らし、他の学生は客観的にリズムを感じてみる）
 タイムステップブレイクⅠ④（ダブルトリプル応用） クロスザフロアーのレベルアップ（ターンクランプロール 左）
 試験の為の振り付け④（シンクペーションのリズム表現）

第23回 エクササイズ リズムタップ
 クロスザフロアーのレベルアップ（フラップとシャッフの組み合わせ）
 タイムステップブレイクⅠ①②③④復習（曲に合わせて） 試験の為の振り付け⑤（タイムステップの応用）

第24回 エクササイズ リズムタップ
 クロスザフロアーのレベルアップ（フラップとシャッフの組み合わせ応用）
 タイムステップブレイクⅡ①②③④（スタンプステップ始まりの応用） 試験の為の振り付け⑥（バックステップの応用）

第25回 エクササイズ リズムタップ クロスザフロアー
 タイムステップブレイクⅡ①②③④復習（曲に合わせて）
 試験の為の振り付け⑦（ポーズのとり方と足さばき）

第26回 エクササイズ リズムタップ クロスザフロアー
 タイムステップⅠ①②③④Ⅱ①②③④総復習
 試験の為の振り付け⑧（前後に移動しながらステップを踏む）

第27回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け⑨（ターンしながらステップを踏む）

第28回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け（クランプロールターンと組み合わせステップ）

第29回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け（上半身のダンス表現と顔の表情を意識）

第30回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け（少人数で踊る 仕上げ）

履修上の注意

タップシューズを履いて受講する事。見学をする場合は、見学ノートに見学の理由・見学時に感じた事などを記入すること。試験評価は授業態度も含む。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で習ったステップ、エクササイズを復習し（30分程度）、翌週の授業までに出来るようにしておく。

学んだことを基にステップの応用（右足始まりのステップを学んだ場合、左足始まりのステップはどうなるか…等）を予習する。（30分程度）

教科書・参考書

なし

科目名－クラス名

タップダンス②

A

曜日時限

金 3時限

担当教員

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				定期試験	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
演習	2～	通年	2		0	0	0	70	30	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース2年次必修科目で、ミュージカルに必要なタップダンスをステップテクニックだけでなく、全身でのダンス表現や顔の表情など舞台上立つプレイヤーとして踊れることを目標とする。2年次は1年次に学んだ基礎テクニックを固め、レベルアップし、様々なジャンルの曲での振り付けに挑戦し、成果発表・試験で実践をする。前期課題（成果発表）では1曲を通して踊り、後期試験ではグループでのフォーメーションを意識した振付を踊る他、4小節を各自で振り付けし表現する。

学修成果

1年次に修得したテクニックに加え、3サウンド・ジャックナイフ等の技が修得できる。様々なジャンルの曲、スタイルでの振付を踊れるようになる。

授業展開と内容

第1回	1年次の復習 エクササイズのレベルアップ（基本ステップから応用ステップへ）
第2回	エクササイズ ブロードウェイステップのレベルアップ（アレンジ） プレーンタップのレベルアップ（テンポの早い曲で）
第3回	エクササイズ（応用 ブロードウェイステップ プレーンタップ） タイムステップのレベルアップ（テンポの早い曲で） 前期課題のための振付①（手を鳴らすクランプとタップステップの組合せ）
第4回	エクササイズ タイムステップブレイクのレベルアップ（テンポの早い曲で） 前期課題の為の振り付け②（裏拍を意識したステップ）
第5回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターンのレベルアップ①②③（ステップ始まりの3種類の応用） 前期課題の為の振り付け③（右足スタートの振付を左足スタートで同じステップを踏んでみる）
第6回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターンのレベルアップ④⑤⑥（シャッフル始まりの3種類の応用） 前期課題の為の振り付け④（リフステップを使用した応用ステップ）
第7回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターンのレベルアップ⑦⑧（リフヒール始まりの2種類の応用） 前期課題の為の振り付け⑤（①のステップを後ろ向きやターンをしながら踊る）
第8回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターン クロスザフロアーレベルアップ（ステップにターンを加える） 前期課題の為の振り付け⑥（サビの振り付けの盛り上がりを意識する）
第9回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターン クロスザフロアーレベルアップ（ターンしながら3連ステップ） 前期課題の為の振り付け⑦（3サウンド、ターン、クランプ等組み合わせた少し複雑なステップに挑戦する）
第10回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターン クロスザフロアーレベルアップ（ビックアップ） 前期課題の為の振り付け⑧（②③④のステップを2グループに分かれ、同時に踊る）
第11回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターン クロスザフロアーレベルアップ（ジャックナイフ） 前期課題の為の振り付け⑨（曲の最終フレーズを振り付け）
第12回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターン プレーンタップのレベルアップ①（複雑な組合せ） クロスザフロアー 前期課題の為の振り付け⑩（ジャックナイフ応用を取り入れる）
第13回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターン プレーンタップのレベルアップ②（①の応用ステップ） クロスザフロアー 前期課題の為の振り付け（表情・見せ方）
第14回	エクササイズ タイムステップ クランプロールターン プレーンタップのレベルアップ①②の復習 クロスザフロアー 前期課題の為の振り付け（仕上げ）

第13回 【個別クラス】
 プレゼンテーション（授業内小テスト）
 （担当：基礎ゼミ担当教員）

第14回 【合同授業】
 各専攻教員による講座でプレゼンテーション能力を高める
 （担当：基礎ゼミ担当教員ほか）

第15回 【合同授業】
 全体発表（選抜されたグループによる発表）
 （担当：基礎ゼミ担当教員）

第16回	
第17回	
第18回	
第19回	
第20回	
第21回	
第22回	
第23回	
第24回	
第25回	
第26回	
第27回	
第28回	
第29回	
第30回	

履修上の注意

- ・授業は、講義のほか、少人数グループでの話し合い・発表など、グループで協力して行うことが多いので、他メンバーに迷惑をかけないように遅刻・欠席等に対する自覚を持って出席・参加してください。
 - ・合同授業では授業後に感想等をMS Formsに入力してもらいます。これは授業内小テスト（30％）に相当します。提出（送信）時にスクリーンショット（または画面の写真）をとる、提出者自身に送信内容が送られるようにするなどして、記録を残してください。
 - ・第4回授業の授業外学修として、「図書館ツアー」と「OPACガイダンス」に必ず参加してください。
- ※注意：新型コロナウイルス対応のため変則的な運用をする可能性がありますので、ポータルサイトでのお知らせをよくチェックしてください。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

- ・予習として事前にテキストを確認し、関連する情報を収集する（30分程度）、復習として毎回の授業の要点や感想をまとめる（30分程度）など、主体的に学修すること。
- ・「図書館ツアー」と「OPACガイダンス」に必ず参加すること（第4回授業で説明します）。
- ・そのほか、必要に応じて都度、指示します。
- ・授業で提示した課題等については、授業内でフィードバック（解説、要点の確認）します。

教科書・参考書

- ・「基礎ゼミ」専用の電子版テキストを配付します。

科目名－クラス名

タップダンス③

曜日時限

火 3時限

担当教員

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	3～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				0	0	0	70	30	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース3年次選択科目で、1・2年次に学んだタップダンスの基本ステップやテクニックを応用し、前期はミュージカル俳優として、魅せるタップダンスの振付を学び、後期は作品振付にてその成果を発表する。

学修成果

様々なテクニックに加えブルバック等の高度な技術も修得でき、より多くの振付を踊れるようになる。ミュージカル俳優としてタップダンスを踊るという意識が持てるようになる。

授業展開と内容

第1回 2年次の復習

エクササイズのさらなるレベルアップ（応用ステップ ブロードウェイステップ プレーンタップ）
クロスザフロアーのダンス表現（ステップに手や上半身の動きをつける）

第2回 エクササイズ

タイムステップ応用（タイムステップとブレイクの組み合わせ応用）
クロスザフロアーのダンス表現（手や上半身の動きに表情も加える） コンビネーション演習①（前半）

第3回 エクササイズ

プレーンタップの応用レベルアップ クロスザフロアー応用
コンビネーション演習②（中盤）

第4回 エクササイズ

3サウンド応用コンビネーション（リップル右足始まり） クロスザフロアー応用
コンビネーション演習③（後半）

第5回 エクササイズ

3サウンド応用コンビネーション（リップル左足始まり） クロスザフロアー応用
コンビネーション演習①②③固め

第6回 エクササイズ

3サウンド応用コンビネーション（リップル右足左足） クロスザフロアー応用
コンビネーション演習小テスト

第7回 エクササイズ

3サウンド応用コンビネーション（復習） クロスザフロアー応用
課題の為の振り付け①（前半）

第8回 エクササイズ

3サウンドコンビネーション
クランプロールターンの応用とレベルアップ クロスザフロアー応用
課題の為の振り付け②（中盤）

第9回 エクササイズ

3サウンドコンビネーション
クロスザフロアーの応用とレベルアップ（シェネタークランプロール）
課題の為の振り付け③（サビ）

第10回 エクササイズ

3サウンドコンビネーション
クロスザフロアー、シェネタークランプロール（シングル ダブル トリプル）
課題の為の振り付け④（後半）

第11回 エクササイズ

クロスザフロアー（ジャックナイフ応用）
課題の為の振り付け（①②③④をつなげて踊る）

第12回 エクササイズ

クロスザフロアー（ジャックナイフ応用ダブル）
課題の為の振り付け（少人数で踊ってみる）

第13回 エクササイズ

3サウンド応用コンビネーションでのリズム遊び（別々のコンビネーションの掛け合い）
課題の為の振り付け（役として踊る）

第14回 エクササイズ

3サウンド応用コンビネーションでのリズム遊び（フォーメーションを変えて）
課題の為の振り付け仕上げ

クランプロール・ターン クロスザフロアー
 タイムステップⅠ①②③④復習（曲に合わせて）

第15回 前期に習ったステップの復習・成果発表（小テスト）

第16回 前期の復習 エクササイズ（基本ステップ・ブロードウェイステップ・プレーンタップ・クランプロール）
 タイムステップ クロスザフロアー
 リズムタップ①（曲を使用しないタップステップのみのリズム遊び）

第17回 エクササイズ クロスザフロアー
 リズムタップ①②（2つのリズムを同時に踏んでみる）
 タイムステップⅡ①②③④（スタンプステップ始まりのシングル・ダブル・トリプル・ダブルトリプル）

第18回 エクササイズ クロスザフロアー
 リズムタップ①②③（3つのリズムを同時に踏んでみる）
 タイムステップⅡ①②③④（曲に合わせて）

第19回 エクササイズ クロスザフロアー リズムタップ①②③④（4つのリズムを同時に踏んでみる）
 タイムステップブレイクⅠ①（シャッフルステップ始まりのシングル応用）
 試験の為の振り付け①（基本の応用）

第20回 エクササイズ クロスザフロアー リズムタップ①②③④の発展（4つのリズムをバラバラの位置で同時に踏んでみる）
 タイムステップブレイクⅠ②（ダブル応用）
 試験の為の振り付け②（クランプロールの応用）

第21回 エクササイズ リズムタップ応用（4つのリズムを全員で円を作り同時に踏んでみる）
 タイムステップブレイクⅠ③（トリプル応用） クロスザフロアーのレベルアップ（ターンクランプロール 右）
 試験の為の振り付け③（3連応用）

第22回 エクササイズ リズムタップ仕上げ（少人数で4つのリズムを鳴らし、他の学生は客観的にリズムを感じてみる）
 タイムステップブレイクⅠ④（ダブルトリプル応用） クロスザフロアーのレベルアップ（ターンクランプロール 左）
 試験の為の振り付け④（シンクペーションのリズム表現）

第23回 エクササイズ リズムタップ
 クロスザフロアーのレベルアップ（フラップとシャッフの組み合わせ）
 タイムステップブレイクⅠ①②③④復習（曲に合わせて） 試験の為の振り付け⑤（タイムステップの応用）

第24回 エクササイズ リズムタップ
 クロスザフロアーのレベルアップ（フラップとシャッフの組み合わせ応用）
 タイムステップブレイクⅡ①②③④（スタンプステップ始まりの応用） 試験の為の振り付け⑥（バックステップの応用）

第25回 エクササイズ リズムタップ クロスザフロアー
 タイムステップブレイクⅡ①②③④復習（曲に合わせて）
 試験の為の振り付け⑦（ポーズのとり方と足さばき）

第26回 エクササイズ リズムタップ クロスザフロアー
 タイムステップⅠ①②③④Ⅱ①②③④総復習
 試験の為の振り付け⑧（前後に移動しながらステップを踏む）

第27回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け⑨（ターンしながらステップを踏む）

第28回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け（クランプロールターンと組み合わせステップ）

第29回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け（上半身のダンス表現と顔の表情を意識）

第30回 エクササイズ リズムタップ タイムステップ クロスザフロアー
 試験の為の振り付け（少人数で踊る 仕上げ）

履修上の注意

タップシューズを履いて受講する事。見学をする場合は、見学ノートに見学の理由・見学時に感じた事などを記入すること。試験評価は授業態度も含む。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

授業で習ったステップ、エクササイズを復習し（30分程度）、翌週の授業までに出来るようにしておく。

学んだことを基にステップの応用（右足始まりのステップを学んだ場合、左足始まりのステップはどうなるか…等）を予習する。（30分程度）

教科書・参考書

なし

科目名－クラス名

タップダンス③

B

曜日時限

金 2時限

担当教員

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				定期試験	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
演習	3～	通年	2		0	0	0	70	30	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース3年次選択科目で、1・2年次に学んだタップダンスの基本ステップやテクニックを応用し、前期はミュージカル俳優として、魅せるタップダンスの振付を学び、後期は作品振付にてその成果を発表する。

学修成果

様々なテクニックに加えブルバック等の高度な技術も修得でき、より多くの振付を踊れるようになる。ミュージカル俳優としてタップダンスを踊るという意識が持てるようになる。

授業展開と内容

第1回 2年次の復習

エクササイズのさらなるレベルアップ（応用ステップ ブロードウェイステップ プレーンタップ）
クロスザフロアーのダンス表現（ステップに手や上半身の動きをつける）

第2回

エクササイズ
タイムステップ応用（タイムステップとブレイクの組み合わせ応用）
クロスザフロアーのダンス表現（手や上半身の動きに表情も加える） コンビネーション演習①（前半）

第3回

エクササイズ
プレーンタップの応用レベルアップ クロスザフロアー応用
コンビネーション演習②（中盤）

第4回

エクササイズ
3サウンド応用コンビネーション（リップル右足始まり） クロスザフロアー応用
コンビネーション演習③（後半）

第5回

エクササイズ
3サウンド応用コンビネーション（リップル左足始まり） クロスザフロアー応用
コンビネーション演習①②③固め

第6回

エクササイズ
3サウンド応用コンビネーション（リップル右足左足） クロスザフロアー応用
コンビネーション演習小テスト

第7回

エクササイズ
3サウンド応用コンビネーション（復習） クロスザフロアー応用
課題の為の振り付け①（前半）

第8回

エクササイズ 3サウンドコンビネーション
クランプロールターンの応用とレベルアップ クロスザフロアー応用
課題の為の振り付け②（中盤）

第9回

エクササイズ 3サウンドコンビネーション
クロスザフロアーの応用とレベルアップ（シェネターンクランプロール）
課題の為の振り付け③（サビ）

第10回

エクササイズ 3サウンドコンビネーション
クロスザフロアー、シェネターンクランプロール（シングル ダブル トリプル）
課題の為の振り付け④（後半）

第11回

エクササイズ
クロスザフロアー（ジャックナイフ応用）
課題の為の振り付け（①②③④をつなげて踊る）

第12回

エクササイズ
クロスザフロアー（ジャックナイフ応用ダブル）
課題の為の振り付け（少人数で踊ってみる）

第13回

エクササイズ
3サウンド応用コンビネーションでのリズム遊び（別々のコンビネーションの掛け合い）
課題の為の振り付け（役として踊る）

第14回

エクササイズ
3サウンド応用コンビネーションでのリズム遊び（フォーメーションを変えて）
課題の為の振り付け仕上げ

■ 授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

予習・復習・体調管理に万全を期すること。

常日頃、様々なジャンルの公演を観る事で俳優としての"引き出し"を増やす事。

■ 教科書・参考書

必要な台本、楽譜、資料などは適宜配布する。

科目名－クラス名

タップダンス④

曜日時限

水 3時限

担当教員

祝利 美杏

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
演習	4～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				0	0	0	40	60	100

教育到達目標と概要

ミュージカルコース4年次選択科目で、3年間で習得した技術を自身の表現する力とし、今後舞台上で活かして踊れる事を目標とする。前期は3曲のシアタータップの振り付けに挑戦し、後期は様々なジャンルの曲を振り付け、応用力を身に付ける。

学修成果

ダブルプルバック・パドルロール・ウイング等の高度な技術を修得できる。シアタータップ・リズムタップ等、多ジャンルの振付をこなせるようになり、卒業後オーディション等にも活かすことができる。

授業展開と内容

第1回	3年次の復習 シアタータップ振り付けⅠ①（前半）
第2回	エクササイズ ブロードウェイステップエクササイズのレベルアップ（リップルを使用） シアタータップ振り付けⅠ②（中盤）
第3回	エクササイズ ブロードウェイステップエクササイズのレベルアップ（スラムを使用） シアタータップ振り付けⅠ③（後半）
第4回	エクササイズ 3サウンドコンビネーション応用（右移動） シアタータップ振り付けⅠ①②③固め（表情、上半身のダンス表現を意識する）
第5回	エクササイズ 3サウンドコンビネーション応用（左移動） シアタータップ振り付けⅠ 小テスト
第6回	エクササイズ プルバック（ダブル） シアタータップ振り付けⅡ①（前半）
第7回	エクササイズ プルバック（ダブル）応用 シアタータップ振り付けⅡ②（中盤）
第8回	エクササイズ クロスザフロアー（リフターンシングル） シアタータップ振り付けⅡ③（後半）
第9回	エクササイズ クロスザフロアー（リフターンダブル） シアタータップ振り付けⅡ①②③固め（表情、上半身のダンス表現を意識する）
第10回	エクササイズ クロスザフロアー（リフターントリプル） シアタータップ振り付けⅡ 小テスト
第11回	エクササイズ クランプロール応用（左右ステップを前後ステップに応用） シアタータップ振り付けⅢ①（前半）
第12回	エクササイズ クランプロールターン応用（バックターン①） シアタータップ振り付けⅢ②（中盤）
第13回	エクササイズ クランプロールターン応用（バックターン②） シアタータップ振り付けⅢ③（後半）
第14回	エクササイズ クランプロールターン応用（バックターン③） シアタータップ振り付けⅢ①②③固め（表情、上半身のダンス表現を意識する）

オーディション写真・宣材写真は撮影用に衣裳を2ポーズ持参すること。
ミュージカル実践演習で学んだことについて、まとめたものをレポート課題として提出すること。
授業展開の中で同じ項目が続くものについては、複数コマで一講義とする。

■ **授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法**

学外の方と接する機会も多いので、「昭和音楽大学の学生」らしい礼儀・振る舞いに気を配ること。
各講義、実習で学修したことについて、その都度メモを取り授業後にまとめておくこと。(30分程度)

■ **教科書・参考書**

必要に応じてプリントなどの配付または指示を与える。

2021年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：1277 教員名：祝利 美杏

1) 評価結果に対する所見

苦手意識を持たないよう、タップダンスは努力した分必ず上達するダンスであることを伝え、楽しみながらステップを学べる授業を心がけているので、学生たちは興味深く、熱心に授業に取り組んでいると感じる。

ほとんどの学生が授業で修得したステップや、リズム、振付の復習をしていて、技術力や表現力が上がっている。

欠席の多い学生については、やはり授業についていけず学修意欲が落ちてしまうのが残念である。

2) 要望への対応・改善方策

授業を欠席した際には、その日の授業内容をクラスの学生に聞き、次回の授業までに教えてもらうなどして練習し、遅れを取らないようにするよう伝えているが、体調不良が長引く場合などは、考慮することも必要だと感じた。

3年生は出席率が良いが、授業内容に満足していない学生もいるようなので、基本の大切さは伝えながら、内容をもう少し工夫してみようと思う。

3) 今後の課題

いままで通り、学生たちがタップダンスに興味を持って学修できるよう、楽しみながら技術力と表現力を身につけられる授業作りを心がけたい。

ひとりひとりのタップの音を聞きアドバイスをするなどして、グループとしての音の揃え方だけでなく、個人の技術力向上にも力を入れたい。

以上